

(令和3年度4月分)大塚キャンパスにおける光熱水量の推移

○ 光熱水量の現状について

光熱水量の現状は、下記のとおりです。

- (1) 大塚キャンパスの電気・ガス・水道の昨年度の年間費用は約1億5千万円/年です。
大学・各附属学校・こども園(いずみナーサリー・国際交流留学生プラザ・旧同窓会は含まない)
- (2) 電気・ガス・水道の使用料金を1日に換算すると約42万円/日の費用です。
(電気:約28万円/日、ガス:約7万円/日、水道:約6万円/日)

○ 省エネルギー対策の目標値について

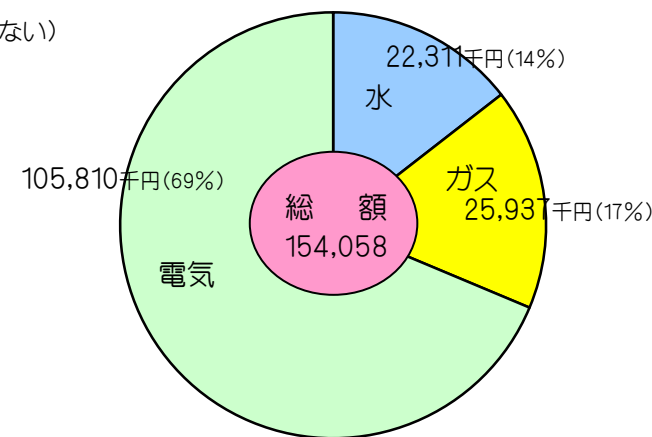
本学では省エネルギー対策の目標値を設定して各種の取組みや啓蒙を行っています。

- (1) 目標値:年平均1%以上の改善
『(省エネ法)エネルギーの使用の合理化等に関する法律』の目標値とする。

○ 省エネルギー対策の取組みについて

本学では下記の省エネルギー対策を積極的に行っています。

- (1) 15年以上経過したエアコンを最新型に順次更新しています。
- (2) 老朽化した蛍光灯型照明器具をLED型に順次更新しています。
- (3) 建物の新築や改修時には壁や屋上に断熱材を設置して、建物の断熱化を行っています。
- (4) 省エネルギー対策の一環として毎年、教職員の夏季一斉休業を実施しています。(計10日間)

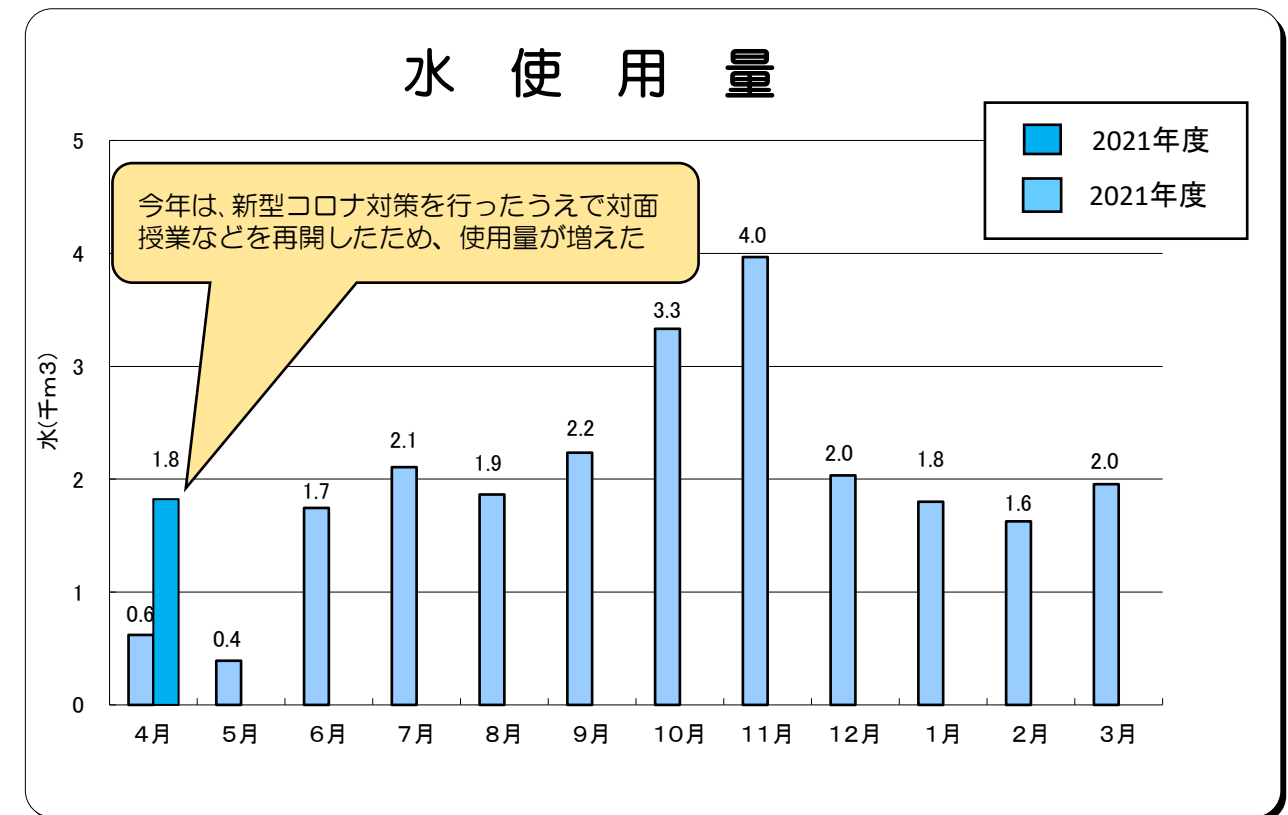


昨年度の光熱水使用料金

○ 省エネルギーの協力について

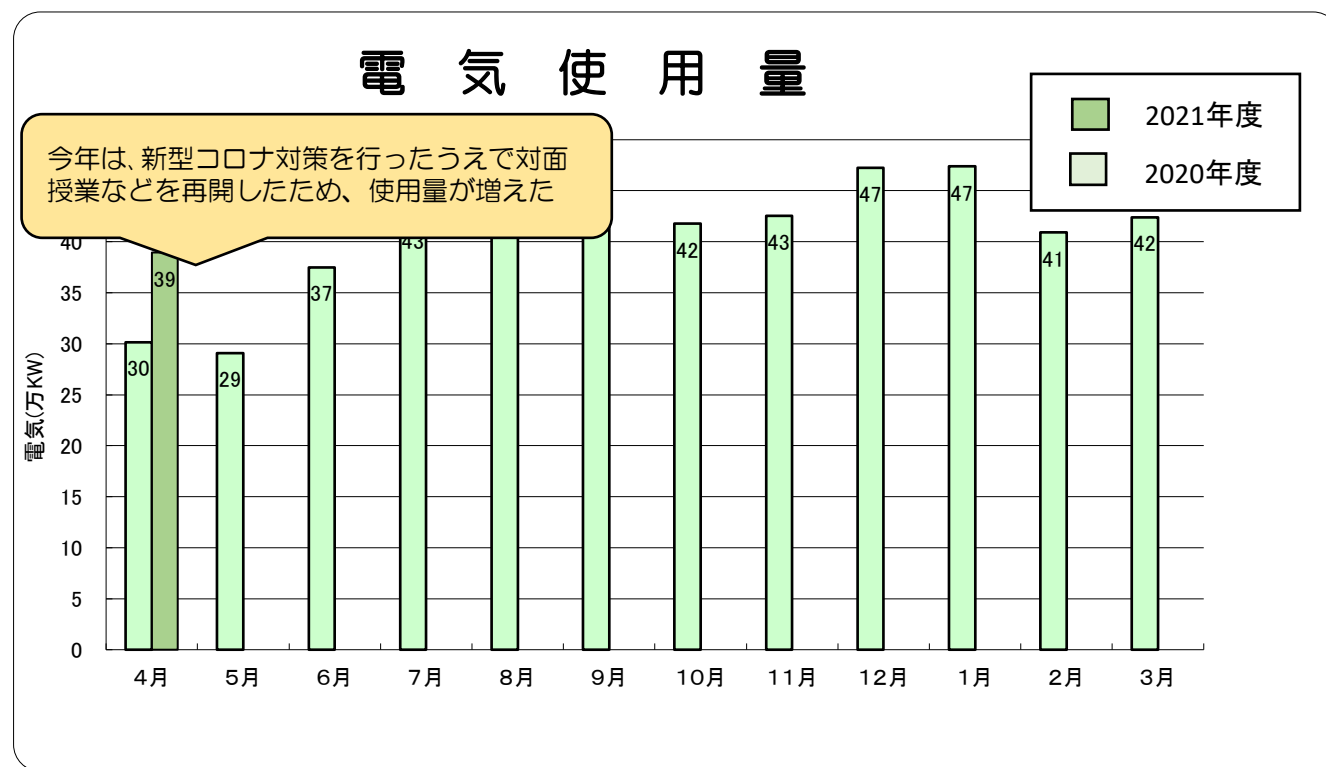
光熱水使用量・料金の現状、省エネルギー対策などについてご理解いただき、今後も省エネルギーにご協力下さい。

- (1) 教室や実験室を使い終わったら、必ず照明やエアコンを停止して下さい。
- (2) エアコン使用時の室温は冷房時28℃・暖房時20℃として下さい。
- (3) トイレの暖房便座は「節電モード」で使用して下さい。
- (4) 使用していない電気製品はコンセントから抜いて下さい。
- (5) 建物内の移動で1階～3階程度の上下の移動は、エレベーターを使用しないようご協力下さい。



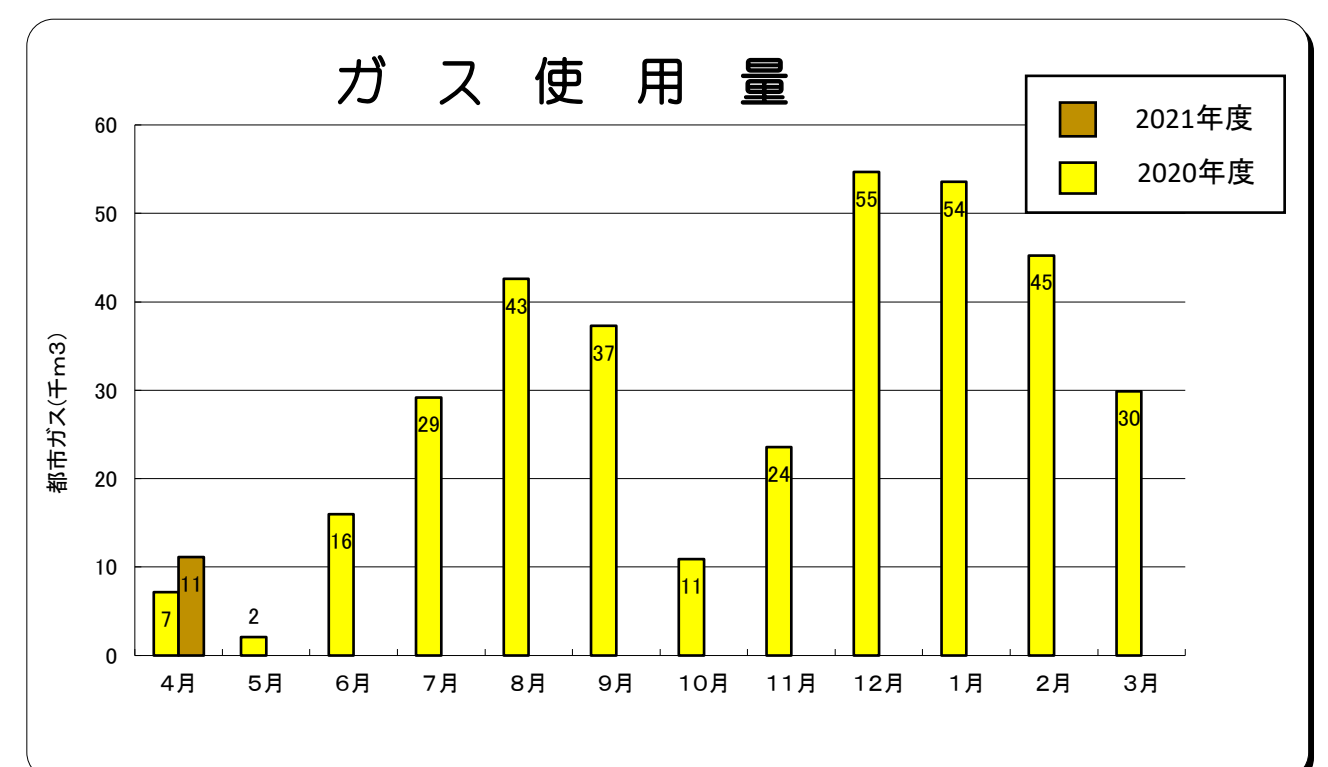
<水使用量の解説>

定期的な漏水調査及び修理を行うことにより、節水効果がでています。各建物のトイレを順次、節水機器に改修して、水の使用量の削減に努めています。



<電気使用量の解説>

老朽化したエアコンの更新や照明器具をLED照明に取替え、廊下やトイレ照明の点滅を人感センサー式に改修して、節電に努めています。



<ガス使用量の解説>

建物改修時には、ガスコンロを廃止して、IHコンロに切替えたこと、又暖房用ボイラーの供給範囲を見直したことにより、使用量が減少傾向にあります。